

新しい創造の世界へ

和久洋三のわくわく創造アトリエ広島安佐プレイルーム

中不秀成

いつも、わくわく創造アトリエの活動にご理解を頂き、誠にありがとうございます。

この度、教室でのアトリエが再開できることを心から感謝しています。

新型コロナウイルスの影響で私たちの生活は一変しようとしています。

未曾有の事態が起こった時には、自分で考えて、自分で行動できなければ、生き残っていけないということを痛感しています。

アート（創造活動）をする時、自分の表現を探すために、「私はいったい何をしたいのか？ どうすればそれが可能となるのか？」と自問自答します。

自らの意思で集中して取り組み、目的を達成して、自分の表現を探せた時には、「やればできる」ことを実感し、未知なる感性を呼び覚まして、生きていく自信と勇気が湧いて来ます。

グローバル化や未曾有の事態により、不確実で予測不能となった環境に対応するために「自分の直感を信じ、自分で考えて、自分で行動できる【自律自走人材】」の形成は創造性を開発する活動によってしか育たないことを私達は知ってきました。

しかし、今の子どもたちは多様な創造活動に挑戦する自由な時間と場所を奪われています。

いつも大人の目を気にして、いい子を演じている子どもたちに、自分は自分のままでいいんだという誇りと、失敗してもやり直せばいいんだという前向きな心。そして、自分でやり遂げた時の達成感を知って欲しい。

そんな願いの中で、アトリエを再開いたしますが、子どもたちだけでなく大人の方々にも、生きていく力の元である創造力を発揮する醍醐味を知って頂ける場でありたいと願っております。

これからも、よろしく願いいたします。

2020年6月吉日